

「オススメ企業はココ」ジョブサポーター企業訪問記

ウィズコロナが進む中、就職活動もオンラインと対面の両方で実施されている。大阪新卒応援ハローワーク（HW）でもジョブサポーター（JS）が直接、企業に出向き、Daily企業説明会へ参加をPRする訪問活動を再開した。そこで本稿では普段、相談窓口を担当するJSが企業の現場を訪れ、採用担当者にインタビューを試みた。仕事にかける熱い思いや企業が求める人物像に迫った。

日本板硝子ウインテック株式会社



ノロジを駆使した真空ガラスは地球環境保護の点からも今後、大きな貢献が期待される。また割れにくく破片が飛び散らないなどその他、様々な性能があり、ガラスもなかなか奥深い。

日本板硝子ウインテック株式会社 写真②は本社。堺筋本町駅13番出口すぐ。写真③はオフィスの風景。1920（大正9）年、ガラス販売店として創業



太陽が照りつける夏。冷房が効いた涼しい部屋で過ごしたいけれど、電気代が気になるし、節電もしなきゃいけないし。そんな私たちの悩みに応えてくれるのが複層ガラスの窓である。断熱性に優れ冷暖房効果をぐっと高めてくれる。しかも紫外線はカット。冬の嫌な結露だって防いでくれるのも嬉しい。世界初の真空テ

複層ガラス窓に高い冷房効果 女性の営業担当、活躍に期待

した。近年、日本板硝子（従業員2万6千人）グループの西日本最大の販売会社として生まれ変わり、ビルやマンションなどの大型工事や大手住宅メーカーのリフォームを請け負うなど多機能企業として成長を続けている。大阪・梅田のグランフロント大阪 写真②や梅田スカイビルの聳え立つようなガラス壁も同社が手掛けた。打ち合わせから関わった建物が完成した姿を見た時の感動と達成感は格別なものである。顧客は町のガラス屋さん、ハウスメーカー、ゼネコンだ。コロナ禍でも夏冬賞与が支給され、業績は好調だ。ハウスメーカーの仕事は、相手先企業の担当者やお客様は女性が多く今後、女性の営業担当者の活躍が期待される。

「社内の居心地が良いのか、定年後も再雇用で働き続ける方が多いようです」と採用担当者。少なくとも年3回、上司と面談の機会がある。社員一人一人と向き合い、頑張った分は正当に評価されるシステムだ。グループ全体で合同研修があり、ハラスメント相談窓口など親会社のホットラインも利用できる。グループ企業ならではの良さが随所に見られる。

求める社員像は挨拶ができる人、「ありがとう」「すみません」が言える人、他人の話を熱心に傾聴できる人、年上の人も物怖じせず話ができる人、粘り強い人である。

「仕事は入社後に覚えれば良い。しっかりと教えてくれる先輩がいます」。就活生からの問い合わせ電話や会社見学も大歓迎。

「どんな会社か知らなくても、とにかく話を聞きに来てください。ご縁はどこにあるか、分かりませんよ」

学ハロ大阪新聞

発行所
厚生労働省 大阪労働局
大阪新卒応援ハローワーク
〒530-0017
大阪市北区角田町8-47
阪急グランドビル18階
TEL 06-7709-9455
FAX 06-7709-9458
<https://jsite.rhlw.go.jp/osaka-young/>



HPのQRコード



施設紹介（動画）

第56号

2022年7月29日



LINE公式
アカウント



2 就活日記

3 イベントで出張登録

4 美しい立ち居振る舞い

「就活クルー」出航 乗務員募集中

就活生同士が仲間（クルー）となり互いに協力し合って内定を目指すグループワーク「就活クルー」が大阪新卒応援HWで始まった＝写真。6月は「求人票の読み方」、7月は「志望動機の作り方」をテーマに実施し、計14人が参加した。今後も月に1回のペースで開き、共に内定を目指す。

就活クルーは就活生同士が情報や意見交換する場として今年度から始まったセミナー。孤独



月1-2回の開催で「納得度の高いスタートライン」を目指す。服装は自由。参加には予約が必要。問い合わせは06（7709）9455へ。

になりがちな就活という海原を仲間と一緒に乗り越えてもらう目的だ。対象は大阪新卒応援HWの利用者で定員は12人。

最新情報 HPで確認を
コロナ禍でイベントは？
所内で開くイベントなどは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となる場合があります。当所HPでご確認ください。

大学の2年間、コロナ禍の影響を受けた世代である。インターンシップや会社説明会はオンラインと対面であり、戸惑いながらの就職活動であった。「社風も掴めない中、果たして就職できるのか」。そんな不安に苛まれた時、大阪新卒応援HWを知る。「悩んでいるのは私だけではない。多くの仲間が相談窓口や自習スペースにいる」。そんな姿に勇気づけられた。ジョブサポーター（JS）の伴走で就活をどう乗り越えたのか。就活日記第43弾。

「MR職で医療現場を支える」思い貫徹

関西大

幼い頃は病弱で検査や入院が日常だった。小学校でサッカーを始め、徐々に健康と体力を取り戻す。この経験が仕事の軸に結実した。



「どんな職業に就こうかと考えた時、やはり医療と健康に行き着いた。病気の治療と日々、格闘する医師や看護師ら医療関係者、病に苦しんだり悩んだりしている患者様を支える仕事がしたい」。この思いが実を結び、来年4月から大手製薬会社のMR（Medical Representatives：医薬情報担当者）職として医師や薬剤師などに自社の医薬品を販売するとともにその情報の伝達や収集に当たる＝写真＝。

就活は3年の6月から始めた。インターンでの面接では、自らをアピールする場でありながらその思いが伝えられず、あっさり終わる。「一体、どのタイミングで何をどう話せばいいのか」。思い悩んでいる時、友人から大阪新卒応援HWを紹介された。

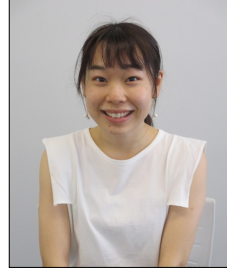
JSとの相談では多くの気付きがあった。例えばESの作成や面接練習だ。その過程で結論から論理的に伝える大切さを知る。「何が課題で、自らその解決に向けどんな行動をとったのか。それを具体的な事例で伝える大切さが分かった」。特に志望動機である。「なぜMRか。そこで生かせる私の強みは何か。しっかり準備しなければ採用はない」。応募者の多くは大学院生や理系出身者。文系学生にとって製薬会社は挑戦である。5月の連休後には本命企業から不採用を食らう。だが「面接で自分らしさは出せた。面接官と相性が合わなかっただけ」と気持ちを切り替えた。「例えば落ち込んでも引きずらない。一喜一憂しない。くよくよしている暇はない」。サッカーと闘病で培った気持ちの強さが追い込まれても自らを支える糧となった。

意中の企業には「この最終面接を突破するためにこれまでの努力があった」との思いで挑む。開始直後、逸る気持ちで声も上ずったが「落ち着け、落ち着け」と言い聞かせ、徐々にだが普段の自分に戻せた。「土壇場でメンタルがコントロールできた。サッカーと面接練習の成果が土壇場で生きた」。絶対にこの会社で決める。強い思いが内定というゴールに突き刺さった。

振り返って思うのは決して諦めない気持ちの大切さである。「病気にも、就活の不安にも負けたくない」。そんな負けん気の強さがこれからの人生を牽引していく。

世界一日本一説明会で意中の企業と出会う

同志社女子大



「世界や日本の市場で誇れるモノづくり企業で働きたかった。そんな意中の企業に大阪新卒応援HWで出会えた。全力でやりきった手応えを今、感じている」。同志社女子大生

＝写真＝は自身の就職活動をこう振り返った。

就活はコロナ禍の昨年6月から始めた。「会社の担当者の方と直接、お会いできず社風が掴めなかった」とオンライン選考に戸惑った。できるだけ多く質問し志望動機に生かそうとしたが、書類はなかなか通過せず、途方にくれる。そんな時、大阪新卒応援HWを知った。友人の紹介である。

書類の添削で知ったのは①結論から論理的に伝える②主部と述部をしっかりと接続する大切さである。「私の強みは傾聴力だが、結論は文末にあった。エピソードの内容もずれていた。それを整理し、課題をどう解決してこの傾聴力を得たのか。トピックセンテンスから筋道を立て論理的に伝えるよう意識して何度も書き直した。すると、文章の型というか、スタイルが身に付き、読み手に分かりやすい内容に変わった」と成果を振り返る。

企業選びは今年3月、当所であった「世界一日本一合同企業説明会」を参考にして積極的に参加した。意中の企業は電設資材のプルボックスが国内シェア7割を占め創業107年を誇る老舗メーカーだ。「百年の歴史があり若手社員も活躍している。プルボックスや電線管附属部品という商品の強みと働きやすい社風に感化された」

例えば最終面接の前日である。人事担当者から「あすの面接、頑張って」との連絡があった。「不安な気持ちに寄り添い背中を押してくれた。暖かい励ましの言葉に志望度はさらに高まった」。当日は緊張もあったが「結論ファーストで簡潔に話すよう努めた。元気よくハキハキと。これもHWの窓口で面接練習を繰り返した成果」である。素の自分がそのまま出せた。その後、内定の連絡があった。

「私の強みは塾講師として学生の悩みをしっかりと受け止めてきた傾聴力、アカペラサークルで仲間と同じ目標に向け継続して努力できるところだ」。一人と集団の両方で強みがアピールできた。ここが評価されたという。

「内定を得るまで私も気持ちの面で辛い日々が続いた。だが就活は人生の大きな分岐点。納得できるまで続けて欲しい」と後輩にエールを送る。

大阪新卒応援H Wは6月1日から3日間、合同企業説明会「職業紹介スタート」編を開き、198人の就活生が参加したII写真。その際、実施したアンケート調査の結果がまとまった。それによると、回答者196人のうち52人が「企業の理解が深まった。詳細に知ることができた」と回答。15人が「いろいろな会社の雰囲気などを聞くことができた」と答えるなど187人が「参加して良かった」との感想を寄せた。その他、「近い距離で人事の方に直接お話を聞くことができた」（11人）、「入社した時のギャップや研修制度など詳しく教えて下さり、質問に対して親切に答えてくれた（8人）」との声

大阪新卒応援ハローワークは府内の各学校で「出張

イベントで出張登録会



府内の各校で実施

登録会」を実施しているII写真は7月に実施した専門学校での登録会。学校内で開催される「就職ガイダンス」の一環として今後ハローワークの積極的な活用で早期内定の獲得を目指すため、大阪新卒応援ハローワークが学校の教壇に立ち、就職活動の流れやハローワークで受けられる有益なサービスメニューの解説などを伝えている。登録手続きは学校の教室をお借りし授業の一部分として実施している。仮登録カードを発行することで登録後からハローワークの各種サービスが利用できる。また、新卒応援ハローワークでは昨年6月より運営を開始した関西圏56大学と緊密な情報提供をするため、メール・リストによるニュース配信サービスを展開中。タイムリーな情報提供がスピーディーに供覧できると好評を得ている。例えばデイリー企業説明会の案内や面接セミナーなどのイベント情報が学校のWEB掲示板などに学外イベント案内として発信されたり、メールなどで学生の皆さんに直接届けられたりしている。ぜひ、学校から発信される情報も確認して欲しい。

9割「参加して良かった」 6月の合同企業説明会



就職先を選ぶ際に重視する点は仕事内容が164人とトップ。次いで休暇・休日が158人、福利厚生が86人で離職率が61人だった。「質問時間ぎりぎりのところが多かった。（10分程度）もう少し長くとり担当者とコミュニケーションをとりやすくしてほしい」との要望もあった。

もあつた。就活での悩みでは125人が「面接対策」と答え、応募書類やESの作成（81人）、業界や企業研究の選定・方法（77人）と続く。「何をしたらいいのか分からない」と答えた人が25人いた。

本との出会いは偶然。企業も、また

書店って独特な空気感ってありませんか？ 入った瞬間に感じる緊張感ある雰囲気や店内にほのかに香る紙とインクの入り交じったにおいが鼻を掠めるとなぜか癒やされます（笑）。

私の書店の楽しみ方はいたって普通で、オススメ本の帯紙を読んで面白いか推察したり、書店員さんが書いたポップに熱意を感じてみたり、装丁が素敵な本に惹かれたり…。当然、好きな作家さんも物色はしますが、期待しているのは新たな作家さんとの出会い！この偶然の出会いが書店に足を運ぶ醍醐味です。ですが、毎回良い出会いがあるとは限りません…。たまには外れることも（泣）。

また、読み物以外にも図鑑や写真集、絵本など様々なジャンルが整然と並んでおり、そのなかを巡るだけで、知らない世界と出会うことができ、書店に入る前には想像していなかった本を購入することもあります（笑）。

最近スマホやタブレットなどを活用して、必要な情報はすぐに手に入れることができる時代になりましたが、注意したいのはネット上の情報はエコーチェンバー（※1）やフィルターバブル（※2）により、気付かないうちに多様な情報に触れにくい状況を招いていること

があり、私が書店で体験するような「予期せぬ出会い」は、その点を注意しないと難しいと思われます。

就活について、探究心を持って様々な情報を得ることが大切であり、得た知識は応募書類や面接場面で必ず役に立ちます。ですが、オンラインのみの情報収集では限界があることから、様々な企業との出会いの場として大阪新卒応援ハローワークで対面開催している「Daily企業説明会」をぜひ、ご活用ください。昨年度は170回開催、延べ350社が参加しており、「事前予約不要」「履歴書不要」「普段着OK」で希望者は気軽に参加できます。

就活生が知りたい情報を直接、企業担当者から聞くことができ、対面だからこそネットでは知りえない情報が得られます。参加企業は大阪新卒応援ハローワークのホームページで確認できます。

スタッフ一同、多くの就活生の参加をお待ちしています！
（大阪新卒応援ハローワーク所長）

（※1）過去のフォロー内容によって自分と同じ意見ばかりが返ってきて特定の情報のみが増幅される現象。

（※2）検索サイトが過去の検索やクリック履歴から分析し見たくない情報を遮断する機能。

清潔感や信頼感、第一印象どう魅せる

～CA流 立ち居振る舞い講座

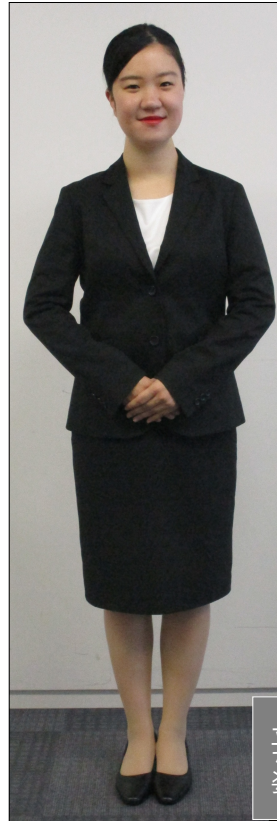
コロナ禍の就職活動ではオンラインに加え対面での面接が増えている。本人の印象は実際に会わないと分からないからだ。面接での言葉遣いや立ち居振る舞いを確認し、採否を決めたい意向のようだ。ただオンライン面接に慣れた就活生から「対面での面接では、どう振る舞えばよいか分からない」「私のお辞儀する姿はどんな印象を与えていますか」など不安の声も聞く。そこで航空会社の元CA（キャビンアテンダント）である当所ジョブサポーターが面接担当者の心を掴む立ち居振る舞いとは何かをお伝えする。

なぜ面接対策として立ち居振る舞いに力を入れるのでしょうか。理由は2つあります。

1点目は、第一印象は反復練習で変えられるから。2点目はあなたの美しい所作が清潔感や安心感、信頼感を面接官に与えるからです。お辞儀の姿勢と豊かな表情を身に付け面接官の心をぐっと掴み、アピールにつなげてください。これからお伝えする「マナー5原則」をマスターし、実社会で生かしてください。

マナー5原則

- 身だしなみ
- あいさつ
- 立ち居振る舞い
- 表情
- 言葉遣い



立ち姿

●身だしなみ

服装（スーツやインナー、靴、靴下、靴）、髪型、メイク、ひげの礼をするスタイルです。姿勢や手指、方向など動作のスピードにも注意しましょう。

●あいさつ

あ..明るく..い..いつも（朝昼夜いつでも時を選ばず）..さ..先に（私から率先して）..つ..続けて（続けて誰にでも）という姿勢が大切です。

●立ち居振る舞い

立ち方、座り方、腰のかけ方、お辞儀、書類の渡し方、ドアの開閉の仕方など日常の所作です。「語先後礼」を徹底してください。まず言葉を述べ、その後、お辞儀を重ねたりします。II写真㊦。

②でお辞儀。角度に留意し腰から曲げるのがコツ。視線は1〜2メートル先を見ます。入退室ではドアをノックし開ける↓「失礼します」と言い、会釈をしてください。腰から頭までの角度は15度。

●表情

状況に応じた表情を意識しましょう。声の大きさやトーン、アイコンタクトをしっかりと。何かに没頭していたり、ふと気を抜いたりすると、素の自分に戻り無表情になってしまいます。日頃から笑顔の心がけましょう。

●言葉遣い

タメ口など学生言葉を使っていません。就活を機に正しい敬語



座る姿勢



敬礼



会釈



をマスターしましょう。言葉遣いは一朝一夕で身に付きません。場面に応じた正しい用法を少しずつ習得しましょう。日常生活でも常に周囲から見られているという意識で行動しましょう。

③で停止。お辞儀をしたままの姿勢でしっかりと止めます。④と⑤のカウントで姿勢をゆつくり元の位置に戻し、面接官の視線に合わせます。

腰の角度はおよそで十分です。練習したい場合は相談窓口のJSにお伝えください。ブースなどを使ってお入室についてもアドバイスします。II写真㊦は練習風景。